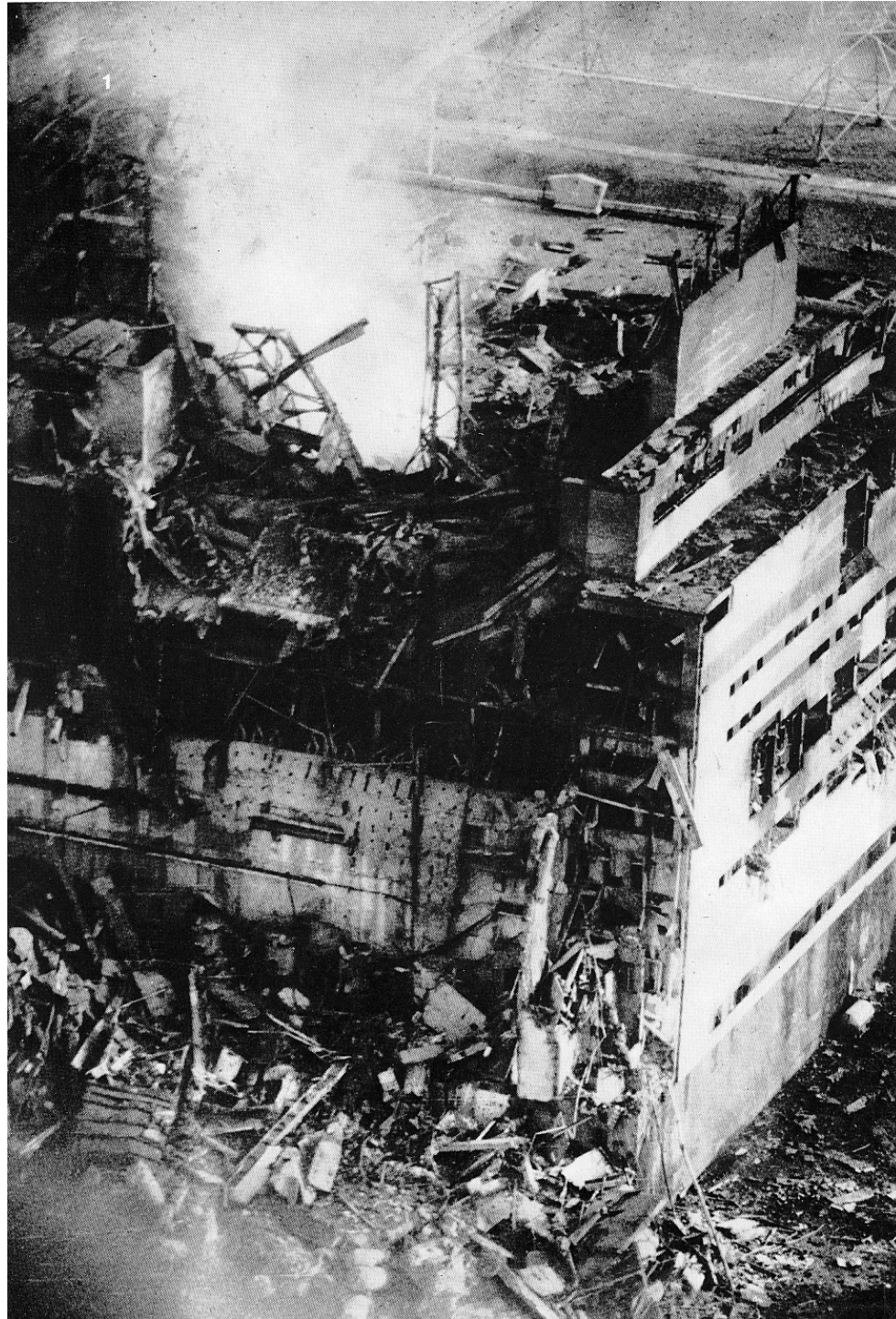
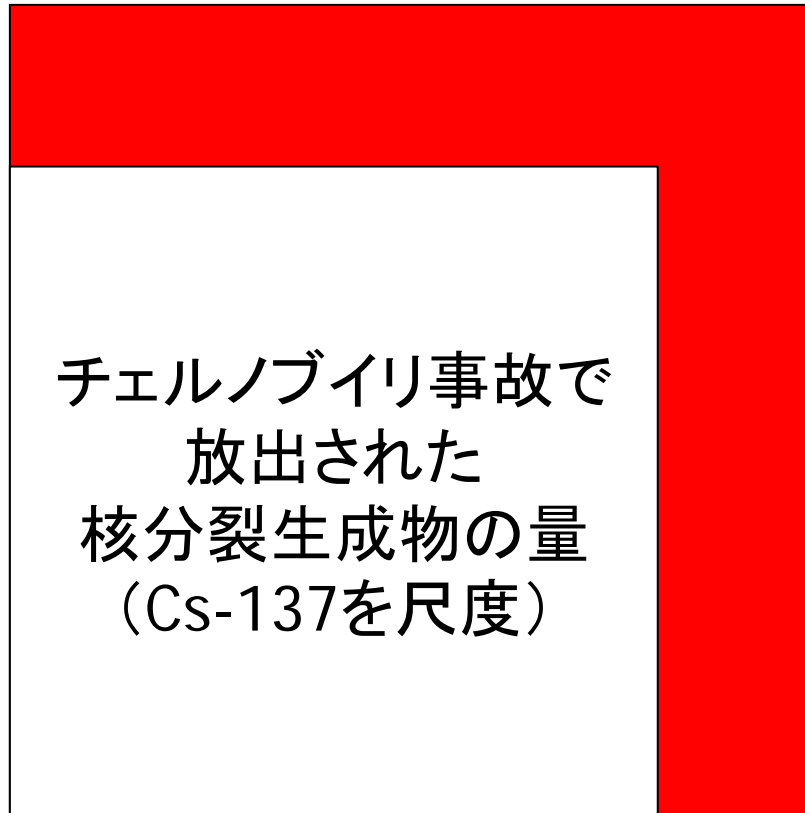


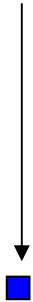
もうやめよう、原子力
ほんとうに・・・



100万kWの原子力発電所1基が1年
運転するごとに燃やすウランの重量
1トン
(生成する核分裂生成物の重量)



広島原爆で燃え
たウランの重量
800g
(生成した核分裂
生成物の重量)



厩大に生み出される放射能



避難の迎えのバス

写真記録

チェルノブイリ 消えた458の村

ЧЕРНОБЫЛЬ 458 исчезнувших деревень Фотодокументы

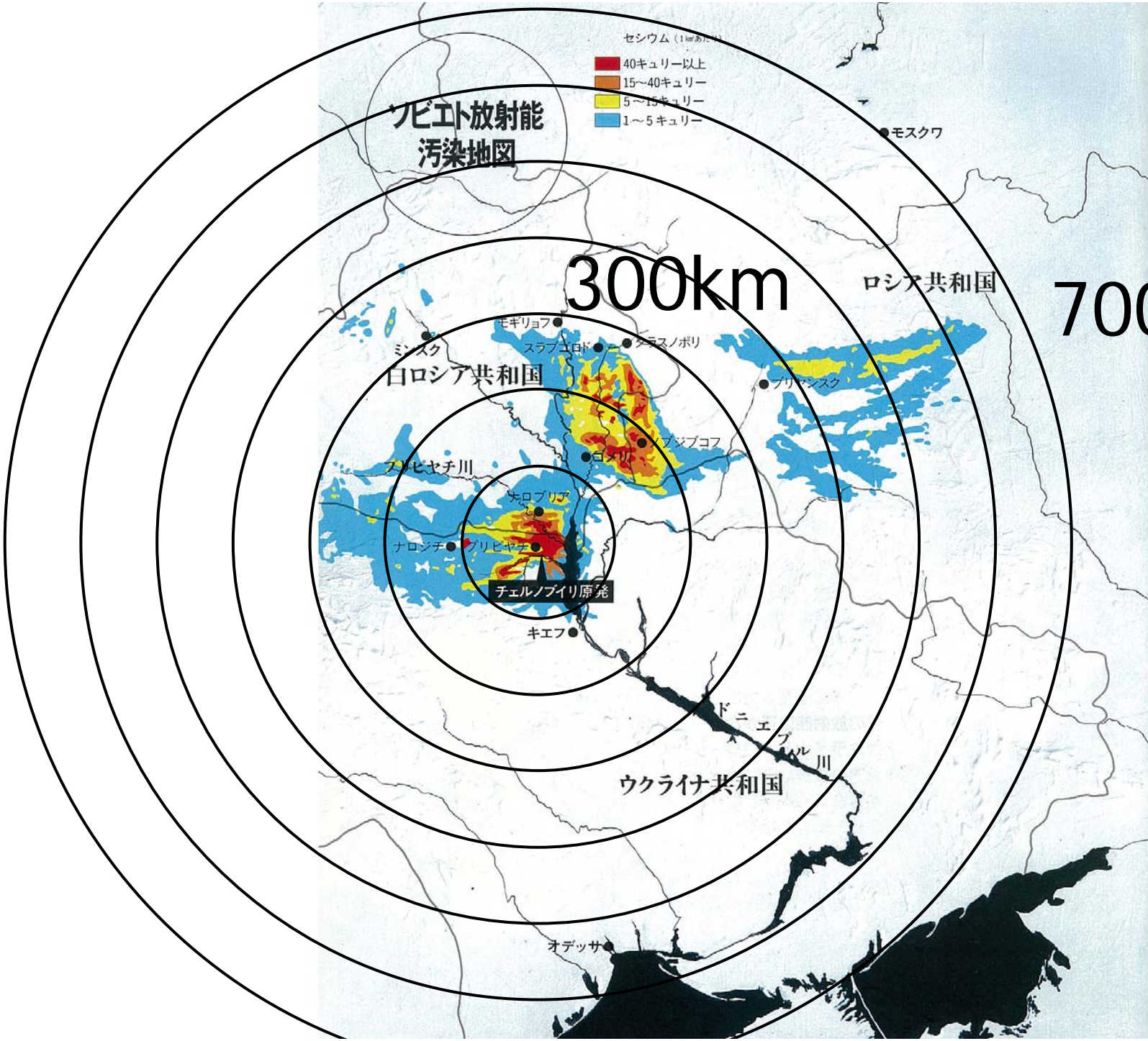


広河隆一
RYUICHI HIROKAWA

日本図書センター

ソビエト放射能汚染地図

- セシウム (1年あたり)
- 40キュリー以上
 - 15~40キュリー
 - 5~15キュリー
 - 1~5キュリー



300km

700km

ロシア共和国

白ロシア共和国

ウクライナ共和国

チェルノブイリ原発

オデッサ

モスクワ

キエフ

スリピヤチ川

ドニエプル川

ミンスク

モギリョフ

スラブユロド

タラスノボリ

ブリヤンスク

ゴメリ

ウジゴラ

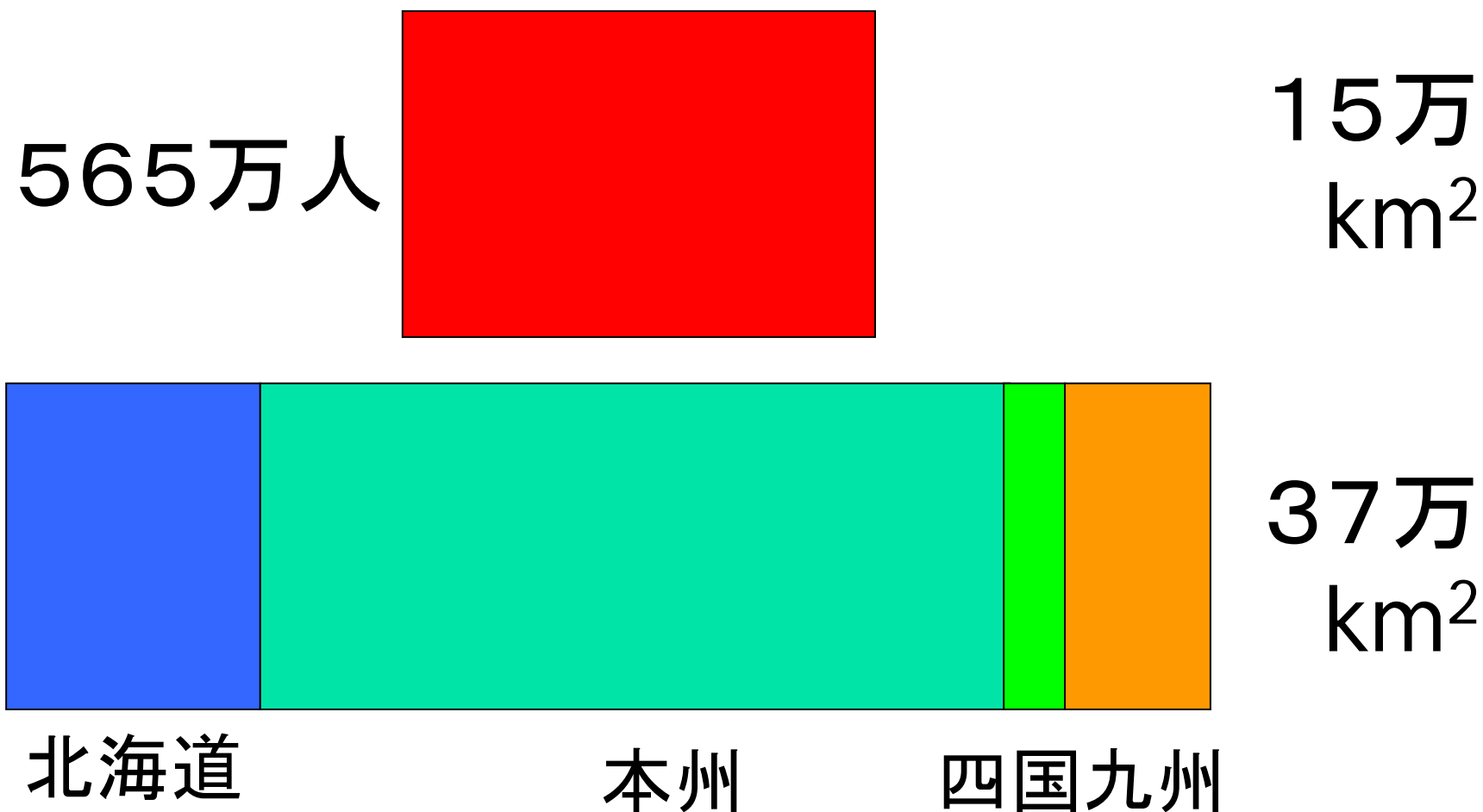
ナロンチ

プリピヤチ

ドニエプル川

チェルノブイリ事故 1キュリー/km²以上の汚染地

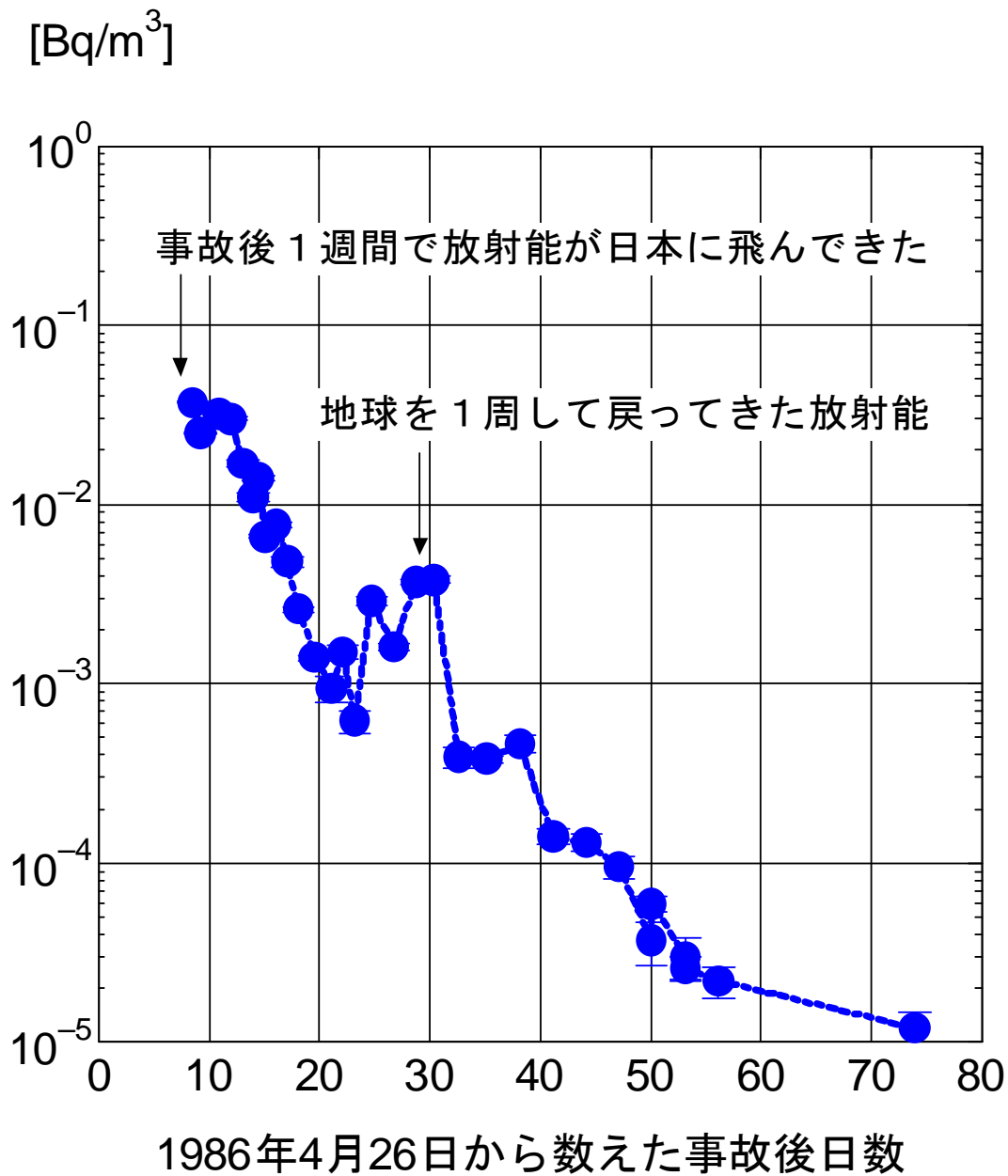
日本の法令に従えば、放射線管理区域に指定



プリパチ周辺 1986年4月28日19時30分



空気中に流せば全地球を汚染



チェルノブイリ事故で日本に飛んできた放射能
(フィルターで捕捉したCs-137)



原子炉立地審査指針

重大事故

技術的見地からみて、最悪の場合には起こるかもしれないと考えられる重大な事故

仮想事故

重大事故を越えるような、技術的見地からは起こるとは考えられない事故



想定不適當事故

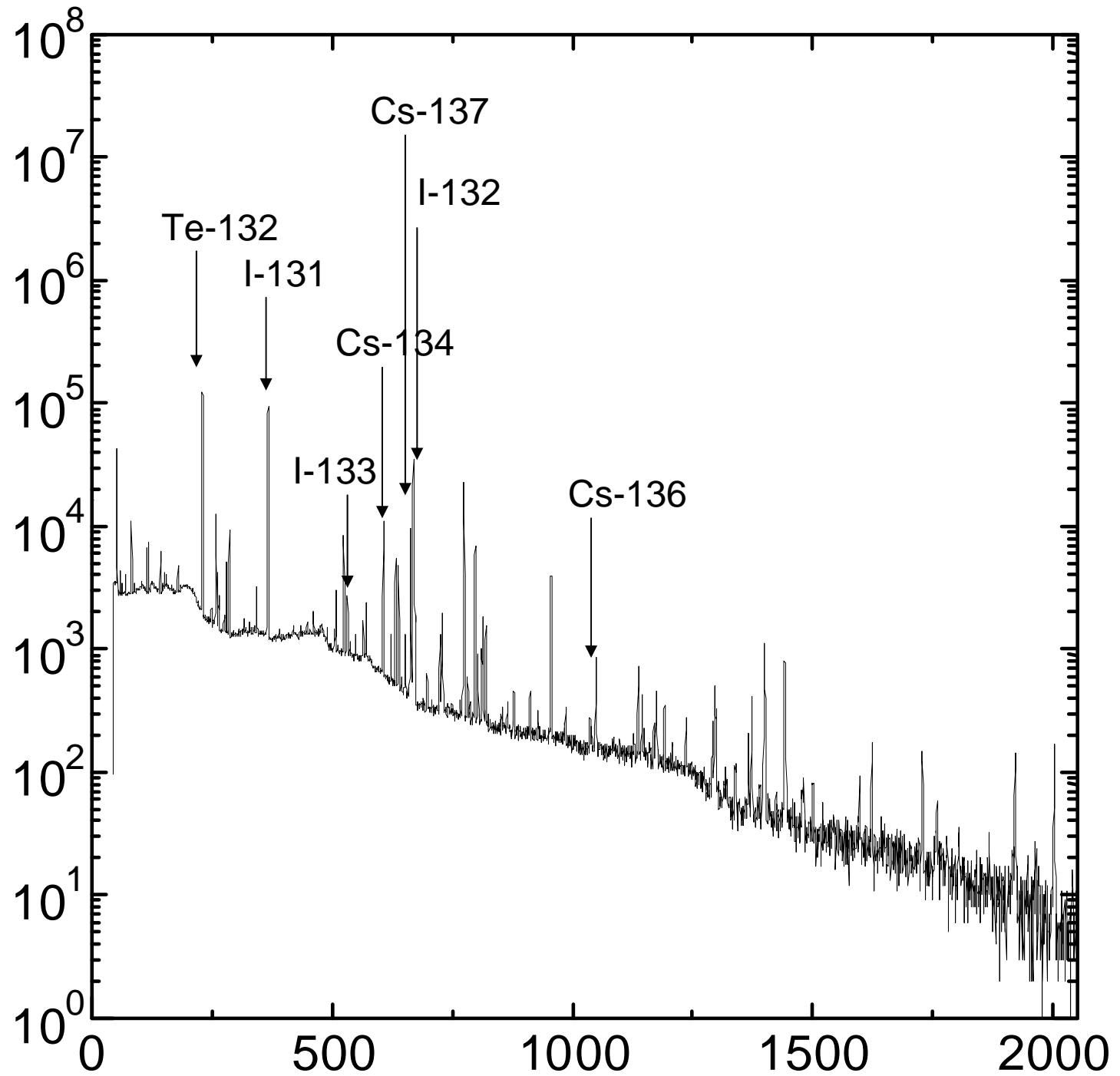
(問) なぜ想定不適當なのか？

(答) 起こる可能性が低いから

(問) 起こる可能性はいくらなのか？

(答) 研究がなく、分からない
(杞憂といえるほど低い…)

———> 確率論的安全評価
『原子炉安全性研究』へ



東京で採取した
空気中の放射性核種

濃度

[Bq/m³]

実効線量

[μ Sv/日]

I-131	720	130
I-132	450	0.8
I-133	20	0.6
Te-132	570	24
Cs-134	110	28
Cs-136	21	0.9
Cs-137	130	23
小計		210

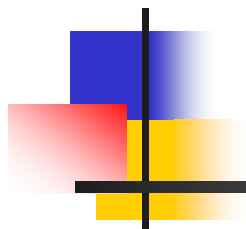
2000年度の「原子力安全白書」

多くの原子力関係者が「原子力は絶対に安全」などという考えを実際には有していないにもかかわらず、こうした誤った「**安全神話**」がなぜ作られたのだろうか。その理由としては以下のような要因が考えられる。

- ・外の分野に比べて高い安全性を求める設計への過剰な信頼
- ・長期間にわたり人命に関わる事故が発生しなかった安全の実績に対する過信
- ・過去の事故経験の風化
- ・原子力施設立地促進のためのPA(パブリックアクセプタンス=公衆による受容)活動のわかりやすさの追求
- ・**絶対的安全への願望**



完



終わります。
ありがとうございました。